

令和四年度第一回企画展

爆心直下の町

—細工町・猿楽町



期間

2022年9月16日(金)～
2023年2月13日(月)

場所

広島平和記念資料館東館1階
企画展示室

入場無料





細工町の通りから島病院を望む

1943年(昭和18年)ごろ

細工町 島一秀氏提供



被爆した島病院のレンガ
広島大学理学部地学教室寄贈



松本電機店の前で

1924年(大正13年)2月29日 猿楽町

細野澄子氏提供



黒川病院の自宅の客間で

1940年(昭和15年)ごろ 細工町

菅原桂子氏提供



伊勢屋商店の日棚(物干し場)で遊ぶ子どもたち

1944年(昭和19年)8月29日 猿楽町

伊勢榮一氏提供



島病院内の慰靈祭

島一秀氏提供



被災者の遺骨

1945年(昭和20年)10月1日~10日

爆心地から120m 猿楽町

林重男氏撮影



広島県産業奨励館で

亡くなった

池田重義さんの腕時計

爆心地から160m 猿楽町

池田コキク氏寄贈



黒川病院の焼け跡で見つかった
指の痕のついた薬瓶

爆心地から50m 細工町 菅原桂子氏寄贈



徐々に建ち始める家屋

1946年(昭和21年)~1947年(昭和22年)ごろ

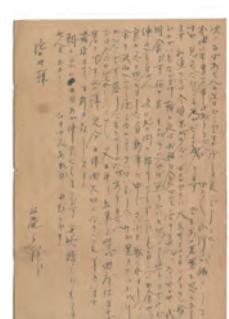
猿楽町 ヘンシヨー博士撮影・遺族寄贈

放射線影響研究所所蔵

中) 爆心地一帯の廃墟

1945年(昭和20年)9月4日

山崎文男氏撮影 山崎和男氏提供



広島郵便局に勤務し亡くなった清水麗子さんの手紙
1945年(昭和20年)7月 清水貞之氏所蔵

【表紙の写真】

左上) 猿楽町通り

大正期~昭和初期ごろ 日比由夫氏提供

右下) 戦後に生まれた子どもを抱いて

1947年(昭和22年)8月25日~10月17日

細工町 菊池俊吉氏撮影 田子はるみ氏提供

